

北九州市 児童福祉施設等 第三者評価結果票

1 施設・事業所の概要

- | | |
|---------------|------------------|
| (1) 事業者名(法人名) | 社会福祉法人 志学会 |
| (2) 事業所名 | 旭ヶ丘保育園 |
| (3) 所在地 | 小倉南区大字木下 8 番地の5 |
| (4) 電話番号 | 093 - 451 - 0043 |

2 評価実施日

平成24年12月5日

3 評価実施者

北九州市(北九州市児童福祉施設等第三者評価委員会)

4 評価結果

総合評価

保育園はカルスト台地として有名な平尾台の西側麓に位置し、広大な自然に囲まれた静かな環境にあります。鉄筋二階建ての園舎は、明るく清潔に保たれ、保育室も広くゆとりがあります。恵まれた自然環境を生かして、四季折々の自然との触れ合いを大切に、家庭的で伸び伸びと温かい雰囲気の中で保育が行われています。

子どもの発達援助

保育課程は、保育理念や基本方針に基づいて編成されていますが、今後は園の保育の独自性を具体的に盛り込むことも望まれます。指導計画は保育課程に基づいて編成されていますが、子どもの年齢によって様式が異なっていますので、クラス間の連携を図り、様式を統一し内容を整理することが望まれます。ケース会議は毎月開催され、話し合った内容は記録されて保育実践に生かされています。また、気がかりな子どもの保護者・園長・担任の三者で懇談が行われ連携が保たれています。

健康対策として、マラソン・お茶うがい・歯磨きが行われています。歯磨きは0歳児から取り組まれており評価できます。健康診断・歯科検診の結果は保護者及び全職員に伝えられています。発病等のマニュアルは整備されていますが、見直しを行うとともに実際の対応についても職員研修をすることが望まれます。感染症についてもマニュアルがありますが、発生時の関係機関との連絡や対応の流れ等についてもマニュアルに組み込んでおくことと、実際の発生時に生かせるようにしておくことが望まれます。また、マニュアルに基づいた対応法や感染症に関する職場内研修の実施も望まれます。年1回給食試食会が開催され、食事の重要性が保護者へ伝えられています。子どもたちの食事をする部屋と遊ぶ部屋とが区別されており、落ち着いて食事を楽しんでいる様子が見られました。アレルギー疾患をもつ子どもについては、医師の診断書を基に保護者・園長・担当保育士・調理員の四者で協議が行われ除去食が提供されています。

基本的な生活習慣が身につくように一人一人の状況に応じた援助がなされていました。乳児についても、安全・清潔への注意を払いながら温かい雰囲気の中で保育が行われていました。恵まれた自然環境の中で、様々な動植物に触れる機会が多くもたれており、月1回の異年齢児交流のほか、朝夕の時間帯で異年齢児が交流する機会も多く、調査に出向いた当日も自然な形で一緒に遊んでいる姿が見つけられました。また、子どもが安心して自分の気持ちを保育士などのおとなに表せるように穏やかな対応がなされていました。運動会で世界遺産を取り上げ、図鑑・絵本・地球儀・国旗等で異文化に関心をもてるような取り組みもなされていました。今後は、差別用語や子どもの権利擁護について研修していくことが期待されます。

子育て支援

保護者との連絡は、口頭によるだけでなく、全ての子どもについて作成されている個人連絡帳により行われています。クラス懇談・個人懇談は全保護者を対象に開催されています。児童虐待については、関係機関との連絡体制についてマニュアルが作成されています。また、虐待に関する研修にも参加しており、その結果は職員会議と報告書の回覧で報告されています。

地域の住民や関係機関等との連携

地域の関係機関・団体からの必要な情報は整理・分類され、職員や保護者が利用しやすいようにファイリングしています。大学生の実習や中学生の職場体験などが行なわれており、今後それぞれの受け入れの意義や方針を定め、職員や保護者へ周知及び目的に応じたプログラムの提供が望まれます。地域の行事の参加や子育てサークルと連携した取り組みや小学生との交流を行っています。今後は、園長がリーダーシップを発揮して、市民センター、区役所、自治会などの関係機関や保健師、民生委員・児童委員、主任児童委員などと連携することや、小学校職員との定期的な話し合いや研修、また、小学校や他の保育所（幼稚園）の職員による授業参観や保育参観などの連携が期待されます。

運営管理

職員研修は職場内外の年間計画を立てるとともに職場内研修の充実、研修成果の評価・分析を定期的に行い次の研修計画への反映が望まれます。今後は、管理者がリーダーシップを発揮し、守秘義務の遵守や個人情報の保護についても定期的な職場内研修を実施すること、子どもに関する記録の管理について規定を整備し、適切に管理することが望まれます。また、危機管理マニュアルが作成されていますが、食中毒が発生した場合の対応マニュアルを作成し、職員に周知することが望まれます。

評価対象ごとの評価（概要）

子どもの発達援助

一人一人の子どもの状況に配慮した保育が展開されているか、保育にふさわしい環境が整っているかなどを評価したものです。

評価対象	評価結果
発達援助の基本	<p>計画・記録 保育課程は、園の保育理念や基本方針に基づいて編成され、自然豊かな地域の実態や保護者の意向も考慮されています。今後は園の保育の独自性を具体的に盛り込むことも望まれます。指導計画は保育課程に基づき編成されていますが、様式が年齢で異なるのでクラスの連携を図り、様式を統一し内容を整理することが望まれます。保育の記録は「北九州市保育帳票検討会」作成の帳票を使い継続的に記載され整備されています。</p> <p>会議 ケース会議は毎月開催され、その内容は指導計画に取り入れられ保育実践に反映されています。また、定期的に保護者との懇談が行われ連携が図られていることは評価されます。</p>
健康管理・食事	<p>健康管理 健康対策としてマラソン・お茶うがい・歯磨きに取り組んでいます。歯磨きは0歳児から実施しており評価できます。発病時などのマニュアルは整備されていますが、見直しを行うとともに実際の対応などについて職員研修を実施することが望まれます。健康診断・歯科検診の結果は保護者及び職員に伝達されています。北九州市が実施している乳幼児検診の受診状況を把握し、未受診児については受診への働きかけがなされています。</p> <p>感染症 保護者へは、感染症の発生状況について掲示板・手紙・口頭で情報提供がなされています。感染症のマニュアルが作成されていますが、発生時の関係機関との連絡や対応の流れ等についてもマニュアルに組み込み、実際の発生時に指示を受けられるようにすることが望まれます。また、マニュアルに基づいた対応法や感染症に関する職場内研修の実施も望まれます。</p> <p>食事 年1回給食試食会が開催され、食事の重要性が伝えられています。クッキング活動や月1回の「お弁当の日」など子どもたちが食事を楽しむ機会も用意されています。アレルギー疾患をもつ子どもについては、医師の診断書を基に保護者・園長・担当保育士・調理員の四者で協議が行われ、除去食が提供されています。</p>
保育環境・保育内容	<p>保育環境 採光・換気・湿度等に配慮がなされ、室内外が清潔に保たれています。寝具や玩具の消毒も定期的に行われていました。各クラスにはクリスマスに関連した子どもの作品が多く飾られ、楽しい雰囲気となっていました。</p> <p>保育内容 職員は子どもたちの状況に応じて、穏やかな対応がなされ、基本的な生活習慣についても一人一人に合わせた援助が行われていました。豊かな自然の中で動植物に接する機会や川遊びや竹の子掘りの等様々な体験がなされていました。「異年齢交流の日」が月1回設けられているほか、朝夕の時間帯でも異年齢児が日常的に交流している姿が見られました。乳児についても、安全・清潔への注意を払いながら温かい雰囲気の中で保育が行われています。</p> <p>人権・性差 子どもたちが安心して自分の気持ちを保育士などのおとなに表わすことができるよう、穏やかな対応がなされていました。運動会では世界遺産を取り上げ、図鑑・絵本・地球儀・国旗等で異文化への関心もてるような取り組みもなされていました。また、性差への先入観による固定的な対応はされておらず、行事での役割についても子どもの気持ちを優先するなどの配慮がなされています。今後は差別用語や子どもの権利擁護についても計画的に研修していくことが望まれます。</p> <p>延長保育・障害児保育 延長保育は、延長日誌と口頭とによって引き継ぎが行われていました。障害児保育は、配慮を要する子どもについての会議もたれ、専門機関との連携や保育実践に生かされています。また、保護者・園長・担任による懇談も行われ全職員への周知も図られています。</p>

子育て支援

子育てに関する保育所と保護者との相互理解や、地域における子育て支援の取り組みなどを評価したものです。

評価対象	評価結果
入所児童の保護者の育ち支援	保護者との関係・虐待 保護者との連絡は、口頭によるだけでなく、全ての子どもについて作成されている個人連絡帳により行われています。クラス懇談・個人懇談は全保護者を対象に開催されています。児童虐待に関しては、関係機関との連絡体制についてマニュアルが作成されています。また、虐待に関する研修にも参加しており、その結果は職員会議と報告書の回覧で報告されています。
地域の子育て支援	地域支援 地域の子育て支援サークルと共同で体操教室を開催するなど、子育て支援の取り組みがなされ、園内外の掲示板で育児情報を提供しています。子育て相談の研修にも参加し、いつでも相談に応じる体制が整っています。

地域住民や関係機関等との連携

地域の最も身近な児童福祉施設としての役割を果たしているか、関係機関等との連携を図っているかなどを評価したものです。

地域の住民や関係機関・団体との連携	地域での役割・その他機関との連携 地域の関係機関・団体からの必要な情報は整理・分類され、職員・保護者が利用しやすいようにファイリングされています。地域の行事の参加や子育てサークルと連携した取り組みや、小学生との交流が行われています。今後は、園長はリーダーシップを発揮し、市民センター・区役所・自治会などの関係機関や保健師・民生委員などと連携し、色々な事柄に取り組むことや、小学校職員との定期的な話し合いや研修、また、小学校や他の保育所（幼稚園）の職員による授業参観や保育参観などの連携が期待されます。
実習・ボランティア	実習等の受入 大学生の実習や中学生の職場体験などが行なわれています。オリエンテーション時にしおりやマニュアルを用いて、保育方針や注意事項などを知らせていますが、それぞれの受け入れについての園の方針を定め、目的に応じたプログラムを提供することが望まれます。また、今後それぞれを受け入れることの意義や方針について、職員や保護者へ周知することが望まれます。

運営管理

保育に関する基本方針等が策定されているか、職員研修などの取り組みがなされているかなど、組織としての運営管理を評価したものです。

組織運営 基本方針	理念・方針 保育理念・基本方針は明文化され、屋外掲示板によって保護者及び地域住民に知らされています。 保育の質の向上・研修 職員会議で、クラスの問題点や反省点・課題を出し合い、次年度に向けた話し合いが行われています。職員の研修機会を確保し、職員の研修希望を聞く機会を設けています。研修参加後は、所定の研修報告書を作成し、職員会議において報告するとともにファイリングして回覧しています。今後は、研修について職場内外の年間計画を立てるとともに職場内研修の充実、研修成果の評価・分析を定期的に行い次の研修計画への反映が望まれます。
安全・衛生管理 情報提供 守秘義務の遵守	守秘義務・情報・安全 守秘義務の遵守については、就業規則、マニュアルに示されています。今後は、管理者がリーダーシップを発揮し、守秘義務の遵守や個人情報の保護について定期的な職場内研修の実施及び子どもに関する記録の管理について規定を整備し、適切に管理することが望まれます。「園だより」と「クラスだより」が毎月発行されており、「保育園のしおり」を使って入園時や見学時に、保護者や希望者に説明の上、配布されています。園内外の掲示板やポスターなどで園の様子や行事などについて、地域住民の方に対してわかりやすく情報提供を行っています。事故防止に関する安全管理チェックリストや管理点検表が整備されています。トイレや水周りなどの衛生管理は適正に行われています。危機管理マニュアルが作成されていますが、食中毒が発生した場合の対応マニュアルを作成し、職員に周知することが望まれます。